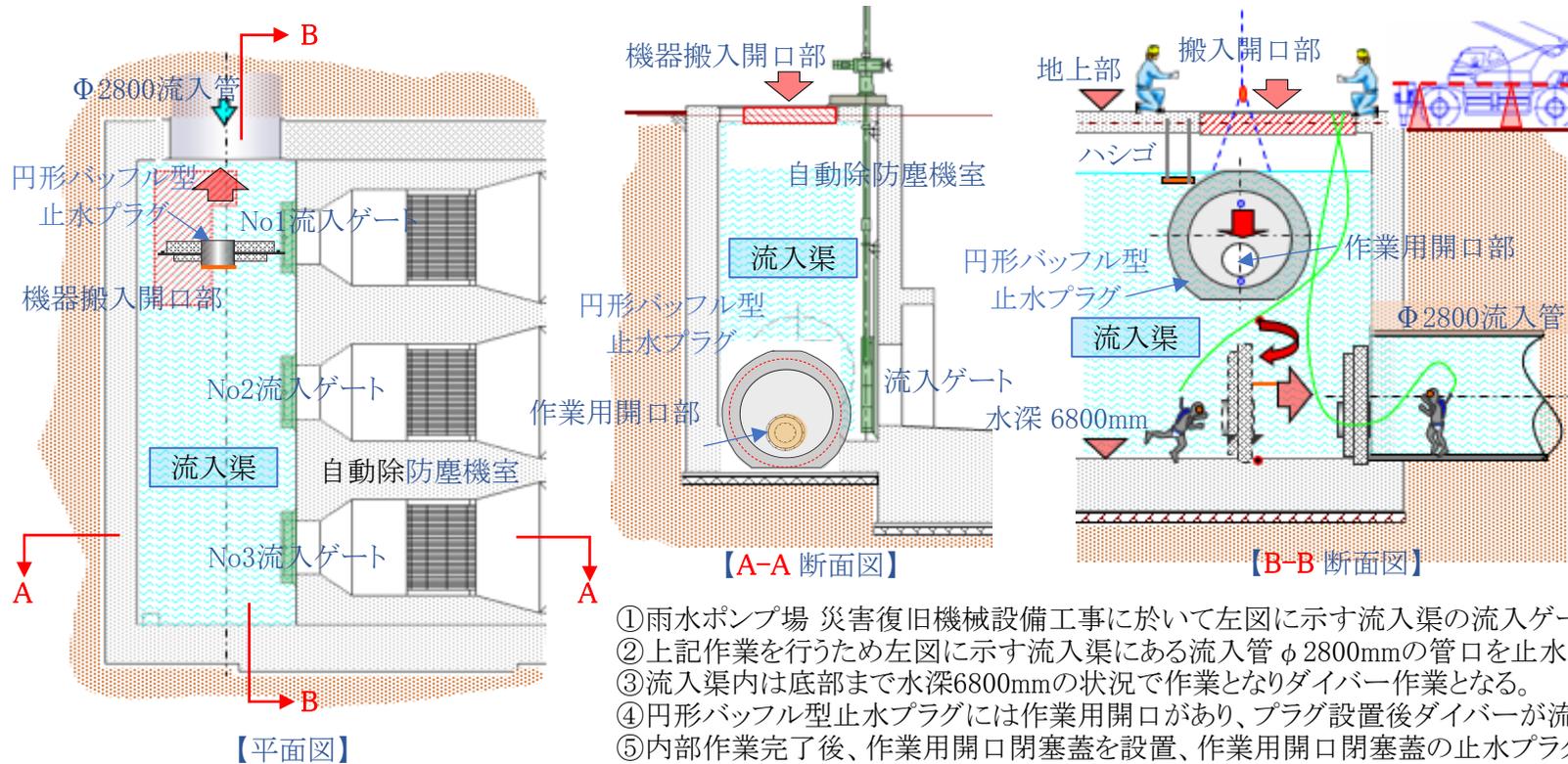
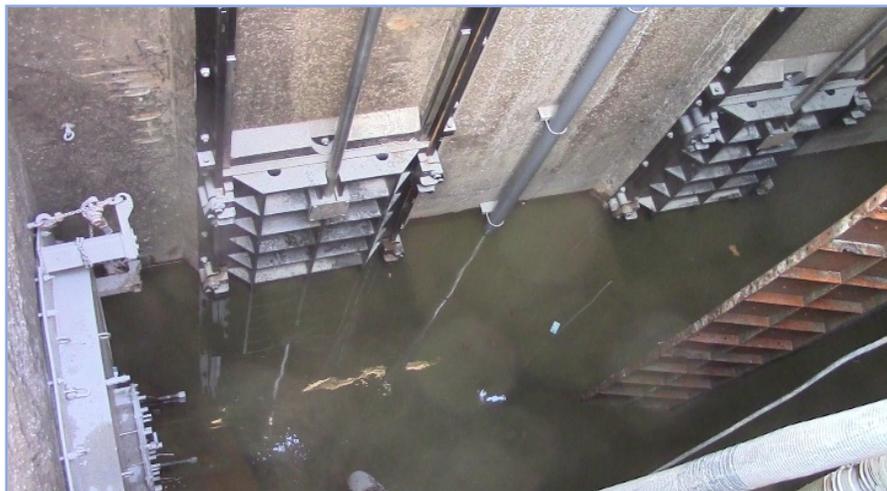


雨水処理施設に接合するΦ2800mm流入管閉塞工事(ダイバー作業)



【今回使用した止水プラグ】
(Φ3200mm)

- ①雨水ポンプ場 災害復旧機械設備工事に於いて左図に示す流入渠の流入ゲート(3台)点検修繕作業を行う。
- ②上記作業を行うため左図に示す流入渠にある流入管φ2800mmの管口を止水する。
- ③流入渠内は底部まで水深6800mmの状況で作業となりダイバー作業となる。
- ④円形バブル型止水プラグには作業用開口があり、プラグ設置後ダイバーが流入管内に入り、内部作業を行う。
- ⑤内部作業完了後、作業用開口閉塞蓋を設置、作業用開口閉塞蓋の止水プラグにエアを加圧し完全止水する。
- ⑥プラグ撤去時はプラグの開口閉塞蓋を地上から操作解放、流入渠内を満水状態にして止水プラグの撤去を行う。



【流入ゲート改修完了写真左が設置プラグ】



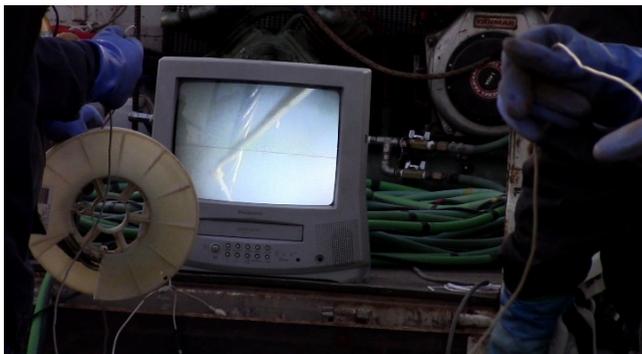
【バブル型止水プラグ】



【手順1】
プラグ現場到着状況
(プラグは最大幅3200mmと大きい
ためトレーラー車で運搬)



【手順2】
作業開始前、潜水士、地上作業
員と安全手順など打合せ



【手順3】
止水プラグ設置前、プラグ設置部
分周りを水中カメラで確認



【手順4】
止水プラグ設置部分の汚泥など
エアリフトを使用して除去



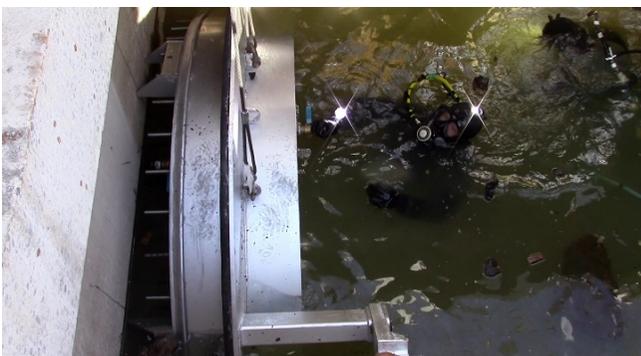
【手順5】
地上部、設置前止水プラグ部品
など組立、準備



【手順6】
止水プラグ本体を65Tonクレー
ンを使用し、設置部搬入開口部
へ移動



【手順7】
流入渠上部搬入開口部からプラグ
を水中へ投入



【手順8】
潜水士が誘導を行い、プラグを
設置所定位置まで沈める
(設置底部まで6800mm)



【手順9】
止水プラグ設置作業進行中、
ルートハンマーの排出エアが水
面へ噴出す



【手順10】
止水プラグ本体を所定位置へ設
置完了後、プラグ本体通水孔へ
小型耐圧開閉装置を設置する

(写真は小型耐圧開閉装置)

以上の作業でΦ2800mm管口止
水は完了、次に、流入渠の水抜き
を行う

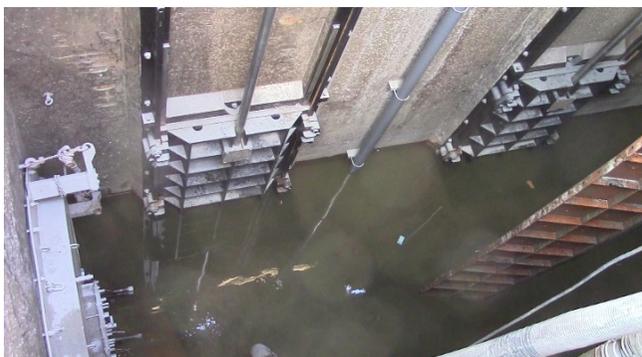


【手順11】
流入渠の水抜き完了状況

(写真は設置された止水プラグの
状況)



【手順12】
流入渠内は水のない状態で大型
ゲート(3台)の改修工事が行われ
ている



【手順13】
大型ゲート改修が完了、プラグ本
体の小型耐圧開閉装置を解放
(通水)し流入渠へ水を入れる

(写真左が止水プラグ本体)



【手順14】
流入渠の水位が通常に戻り、プラ
グ本体を解体撤去する

(写真は解体され引揚げられたプラ
グ本体)



【手順15】
以上で流入渠のゲート改修に伴
う流入孔止水工事は完了する



【手順16】
ゲート改修工事が完了した状態

(写真中央がゲート操作盤とゲート
開閉装置)